

みるみる

観る 見る



京都府立中丹支援学校

自立活動部だより 第1号

令和3年4月27日(火)発行

春風が心地よい季節となり、始業式や入学式を迎えた子どもたちは、新たな気持ちで新年度の学校生活をスタートしています。自立活動部では、「からだの指導」「言語指導」「療育指導」の三つの分野を軸として、多角的・総合的に子どもたちのニーズを把握し、一人一人に応じた指導・支援が展開できるよう尽力していきます。一年間どうぞよろしく願いいたします。

言語指導

一人一人に応じたコミュニケーション手段の獲得や、円滑にやりとりができることを目指して、音声器官の機能を高めることや発音練習等に取り組みます。豊かな「ことば」の力が育つように担任と連携しながら指導します。



◎荒瀬 耕輔 ◎池田 聡 ◎岩崎 朋子
◎大前 梨佐 ◎竹内 理恵 ◎瀧花 由美子

からだの指導

日常生活を豊かにするための「姿勢」や「運動」の学習を進めます。保護者や担任と連携し、家庭や学校において主体的に活動することができるように指導します。

療育指導

児童生徒が自立して活動を進めたり、コミュニケーションや社会参加の力を高めたりすることができるよう、特性に応じた指導・支援の方法を担任と一緒に考え、連携して指導します。効果的な手立ての設定やスモールステップでの取組を通して、集団の中で見通しをもって学習に向かえる環境づくりを支援します。

◆自立活動とは

自立活動部では、「自立活動部だより」を発行して、保護者の皆様と日頃の取組や活動の意義などを共有したいと考えています。

特別支援学校の教育課程には、国語や数学といった各教科等のほかに、「自立活動」という領域が設けられています。この自立活動の目標は、「自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達を基盤を培うこと」です。自立活動の内容には、「健康の保持」「心理的な安定」「人間関係の形成」「環境の把握」「身体の動き」「コミュニケーション」の6区分にわたり、27の指導項目が挙げられています。この6区分27項目の視点から、児童生徒一人一人の実態に応じた指導を行っていきます。

健康の保持

日常生活を送るために必要な健康の維持や改善を図ることを目指します。生活リズムを整えたり、健康状態を自分で管理したりすることを学びます。



心理的な安定

自分の気持ちを調整しながら、様々な状況や変化に対応したり、適切に対処したりして、安心して生活を送るための方法を学びます。



人間関係の形成

自分や他者に関心をもち、理解したり、働きかけを受け止めたり上手に関わったりすることを学びます。集団参加の基礎となる力を培います。



環境の把握

もてる感覚を活用して、周囲の状況を把握したり、環境に合わせて行動したりする力を育てます。感覚や認知の力を高める学習に取り組みます。



身体の動き

日常生活や学習活動、様々な作業等に必要の基本動作を習得し、生活の中で適切な身体の動きができるように指導します。



コミュニケーション

場の状況や相手に応じて、上手にコミュニケーションができるように、一人一人に応じたコミュニケーション手段を選択しながら学習を進めます。



*自立活動部だより「みるみる」について

「みるみる」には、子どもと関わる際、常に「観る」「見る」の二つの眼でみていこうという思いを込めています。“観る”=内側をみる、近くをよくみる。“見る”=外側をみる、全体を大きくみる。日々の指導の中で取り組んでいる課題について、つまづいているのはなぜかを丁寧に観る視点と、卒業後や10年後・20年後はどんな姿だろうと遠くを見る視点です。